



近世の流俗は後鳥羽院
 口柄を以て流俗に當る世も
 かりきり油をみり人鬼を
 獣魚虫の形別をくあまの形を
 愛し我を道に後世をさすも
 常は病病故をくして年命を
 伸べり法皇美友の素指を添く
 始をさし画之に於て流俗のまを
 画をく運承く世上の民をて厄
 邪乃を後らさるる人かた
 めてを承る瑞方れい今を志を
 換して正本のうられのかせめば
 徳君此画を雷のくたふ座右に
 たくともちが夜邪悪笑の雅成
 ちんひ子孫衆家運長久の
 意後や〜〜笑ひて流〜
 孝ひ〜〜いと免〜〜な〜
 方教〜〜と云ふ



意後
 孝ひ

大金





大
金

大
金





大金
高橋秀吉





地藥
大金



